島田こども園の概要

（令和８年10月１日時点）

<table>
<tr><td>施　設　名</td><td colspan="2">島田こども園</td><td>施　設　の　種　類</td><td colspan="3">幼稚園型認定こども園</td></tr>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="2">穂日島町４８５</td><td>電　話　番　号</td><td colspan="3">０８５４－２２－５３２５</td></tr>
<tr><td>受　入　年　齢</td><td colspan="2">３歳児～</td><td>設　置　者</td><td colspan="3">安来市</td></tr>
<tr><td>利　用　定　員</td><td>１　号
認　定</td><td>１０名</td><td>２・３号
認　定</td><td>１５名</td><td>合　計</td><td>２５名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入所児童数</td><td>０歳児</td><td>１歳児</td><td>２歳児</td><td>３歳児</td><td>４歳児</td><td>５歳児</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>１名</td><td>１名</td><td>４名</td><td>６名</td></tr>
<tr><td>開　所　時　間</td><td colspan="6">７：００～１９：００</td></tr>
<tr><td>教育標準時間
（１号認定）</td><td colspan="6">８：３０～１４：００</td></tr>
<tr><td>保育標準時間
（２・３号認定）</td><td colspan="6">７：００～１８：００</td></tr>
<tr><td>保育短時間
（２・３号認定）</td><td colspan="6">８：３０～１６：３０</td></tr>
<tr><td>実　施　事　業</td><td colspan="6">☑延長保育　☑預かり保育　□一時預かり　□休日保育　□病後児保育</td></tr>
<tr><td>職　員　配　置</td><td colspan="6">園長１名、教諭２名</td></tr>
<tr><td>施設の概要</td><td colspan="6">鉄筋コンクリート造平屋建て、園舎面積 486.68 ㎡、園庭面積 2746.00 ㎡、
保育室面積 122.89 ㎡、遊戯室面積 124.23 ㎡、敷地面積 5325.00 ㎡</td></tr>
<tr><td>保　育　料</td><td colspan="6">安来市が市民税額等に応じて決定した利用者負担額</td></tr>
<tr><td>利用者負担、
その他の費用</td><td colspan="6">延長保育料（２・３号）１００円／３０分
預かり保育料（１号）２００円／１時間
保育用品　年額８，０００円程度
給食費（１号副食費）月額３，５００円（おやつ代は別途）
給食費（２号副食費）月額４，９００円（おやつ代含む）
保護者会費　月額６００円
行事等にかかる費用は実費</td></tr>
<tr><td>教育理念
保育方針
保育内容等</td><td colspan="6">〔園の教育目標〕
心豊かにたくましく　未来を拓く子どもの育成
〔めざす幼児像〕
島田大好き　友だち大好き　ひとみ輝く島田の子ども
〇明るく元気な子ども（安定した心 健やかな体 基本的生活習慣）
〇自分から遊びを見つけ、夢中になって遊び込む子ども（感性 意欲 思考）</td></tr>
</table>

	○友だちとなかよくしようとする子ども(人とのかかわり 規範意識) 〔運営方針〕 人権尊重の精神に立ったこども園経営を基盤として、愛情と信頼、連帯と創意を発揮した教育を展開し「生きる力」の基礎となる心情・意欲・態度を培い、教育目標の実現を図る。 〔めざす教職員像〕 ○ 一人の人として、自分のあり方を見つめる教職員 ○子どもを信じ、子どもと真摯に向かい合う教職員 ○意欲的・創造的な教育実践を求める教職員 ○「連携」「協働」による教育を大切にする教職員 〔園経営の重点〕 (1)互いの人権を尊重しあうこども園づくりと豊かな心の育成 (2)幼児にとってふさわしい認定こども園生活の創造 (3)自ら健康で安全な生活を作り出す力を大切にしたすこやかな体の育成 (4)保護者や地域に開かれた取組の推進 (5)教員の連携と共通理解に基づいた保育の充実
施　設　の　Ｐ　Ｒ	本園は、中海干拓地に島田小学校や島田交流センターと隣接して建設され、自然豊かな広い園庭を有しています。その園庭は芝生化され、「なかよしの山」「ぞう山」の二つの山、ログハウスのような「なかよしの家」、大きな「プール」。梅・びわ・柿などの果樹、野菜畑や花壇などがあり、季節を楽しむことができます。 園の周りには畑が広がり、平成３０年１０月には、近くの「なかうみふれあい公園　子ども広場」も開園しました。また、当地区は教育後援会が組織され、交流センターを通した「地域支援」等の活動も活発で、地域ぐるみで子育てをしようとする体制が整っていて、幼児教育にも関心が高く、こども園の教育活動に対しても協力的です。 現在、園児数は少なめですが、少人数だからこそできることを大切に、きめこまやかな保育を推進しています。 以上のような本園の良さを生かして、以下のような特色ある教育を行っています。 (1) 広い自然豊かな園庭を生かした、しなやかな心と体を育む保育 ○砂や土、泥、水、草花、虫など、身近な「もの」や友だち、保育者などの「人」とかかわりながら一人一人が自分で遊びを見つけ、遊び込む中で、遊びを工夫し、発展させていく「見つけた遊び」 ○体を動かす気持ちよさや達成感を感じることができるように支えながら、マラソン、体操、リズム遊びなどを取り入れ、進んで運動しようとする意欲を育てる毎朝の「おはようタイム」 (2) 地域支援や地域の特性を生かしたふるさと教育 ○島田交流センターと連携して、年間を通して計画的に行う、地域の方に教えていただいたり一緒に遊んだりする地域支援活動（さつまいも栽培、陶伝承遊び等）

	○田んぼでのどろんこあそび体験、筍掘り、地域探検等園外に出かけて地域のよさを感じる活動 (3) 豊かな情操を育むための活動 ◯幼児の主体性を大切にした「劇あそび」や「オペレッタ」の発表 ○家庭と連携した絵本の読み聞かせやおはなし語りを聞く活動 ○外部講師によるリトミック遊びを楽しむ「「うたおうタイム」の実施 (4) 小学生・他園の友達との交流活動や異年齢での活動 ○小学校の学習発表会などへの参加、小学生との交流活動など、小学生への憧れや親しみ、小学校への期待を持つようになる活動 ○日常の保育の中での、発達段階を大切にした異年齢で行う活動

＜施設の写真＞

施設全景	
園庭	
保育室	